

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社ナゴヤドーム
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	愛知県名古屋市東区大幸南一丁目1番1号
工場等の名称	ナゴヤドーム
工場等の所在地	愛知県名古屋市東区大幸南一丁目1番1号
業種	サービス業(他に分類されないもの)
業務部門における 建築物の主たる用途	集会場
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	プロ野球、展示会、コンサート等の催物の開催
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年7月14日 ～ 令和7年3月31日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) ナゴヤドーム 1F事務所
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先			

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

中央監視によるきめ細かい運転制御により、エネルギー消費量の低減を図り、職員やそれ以外の協力会社等の関係者に対して省エネルギー対策の重要性について説明し、意識の高揚に努める。

開業から25年以上が経過し、機器や設備に劣化がみられるところも出てくるため保守・点検を念入りに実施し効率的な状態を維持する。また、機器更新または新規購入時は、省エネルギー対応の機器を積極的に導入を進める。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

施設担当（エネルギー統括者）



施設部員



関係者

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,389	t-CO ₂
①を 除く （温室 効果 ガス 換算 ）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		4,389	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
温室効果ガス 総排出量	4,389	t-CO ₂	7,268	t-CO ₂	▲ 65.6	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

基準算定年度である令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催イベントの中止、延期が重なり、イベント開催数が感染拡大前の令和元年度比較で18%減少した。令和4年度以降は感染者数の減少、感染終息が予想される。また入場者数制限も大幅に緩和されることが見込まれるため、感染発生前の令和元年度温室効果ガス総排出量を算定基準として3年間で1%削減する。
令和元年度温室効果ガス総排出量 7,341 t-CO₂ 対1%削減目標 7,268 t-CO₂

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
	太陽光発電設備	

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

雨水利用、女子トイレ内擬音装置の設置、電子共有フォルダによるペーパーレス化、緑化による日射対策

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

自動車使用時は、急発進・急加速を控え、アイドリングストップの確実な励行等エコドライブを呼びかける。
